

試合番号 : 276	試合会場 : 松本市総合体育館	観客数 : 1,100
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:28	試合時間 : 01:28
主審 : 戸川 太輔	副審 : 高橋 宏明	
VC長野トライデンツ 通算 4勝 32敗 ポイント : 16	19 第1セット 25 20 第2セット 25 16 第3セット 25 第4セット 第5セット	JTサンダーズ広島 通算 17勝 19敗 ポイント : 54
監督コメント 今シーズン、ラストの試合でした。ホームという最高の場所で最高の結果を出したかったのですが、JT広島の方強い攻撃の前に敗戦となってしまいました。本当にたくさんの方々に足を運んでいただき、選手への熱い応援ありがとうございました。来シーズンはしっかりと強くなり、勝てるチームにします。1シーズンありがとうございました。	0	3 監督コメント 最終戦、勝利することができ、次につながる試合だったと思います。各会場で準備いただいた皆様、会場に足を運んでいただいたファンの皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。来シーズンは強くなって戻ってきます。そして、新型コロナウイルスが収束し、皆様笑顔がたくさん見られることを切に願っています。
要約レポート VI残留を決めホームでの最終戦を白星で飾りたいVC長野トライデンツと、勝利して1つでも順位を上げたいJTサンダーズ広島の対戦。第1セット、エドガーのスパイクや小野寺のブロックで得点を重ねるJT広島に対し、VC長野はリヴァンと戸善にボールを集め中盤まで互角の戦いになる。中盤から山本、陳のサーブで連続得点を奪ったJT広島がセットを先取した。第2セット、中盤までは互角の戦いになるが、JT広島はエドガー、陳のスパイクで点差を広げる。VC長野も池田(幸)を投入し挽回を図るが、決定力に勝るJT広島は西のスパイクでセットを連取した。第3セット、JT広島は小野寺のブロックとスパイクで先行する。VC長野は池田(幸)をスタートから起用し挽回を図るが、陳、エドガーを中心にスパイク、サービスエースの猛攻でJT広島がこのセットも奪い、最終戦を勝利で飾った。		

試合番号 : 277	試合会場 : パークアリーナ小牧 (小牧市スポーツ公園総合体育館)	観客数 : 1,150
開始時間 : 12:01	終了時間 : 13:42	試合時間 : 01:41
主審 : 原 啓之	副審 : 城 智人	
ウルブドッグス名古屋 通算 26勝 8敗 ポイント : 76	25 第1セット 22 25 第2セット 22 31 第3セット 29 第4セット 第5セット	FC東京 通算 8勝 27敗 ポイント : 31
監督コメント 古賀幸一郎選手、豊田合成トフェルサ時代からウルブドッグス名古屋となった今日までの長い間、チームの発展に貢献してくれて本当にありがとうございます。古賀選手が入部してからリベロポジションで困ることは一度もありませんでした。ここパークアリーナ小牧で復帰戦を飾ることは運命的な感動を与えてくれたと思います。サポーターの皆さま、偉大な古賀選手の新しい人生を共に祈りましょう。Best Day Ever!	3	0 監督コメント 今シーズン最後の試合において、勝利で終わることができず非常に残念です。まだ不安定な面もありますが、対戦相手に関係なく、すばらしい試合ができるようになりたいです。今後は今季取り切ることができなかったゲームを確実にものにできるように、チーム、個人個人が強くなるように精進していきます。今シーズン本当にご声援ありがとうございました。黒鷲旗および来シーズンもよろしくお祈りいたします。
要約レポート レギュラーラウンドを締めくくるとFC東京の対戦は、WD名古屋がストレートで勝利を収めた。ただ両チームは実力伯仲で、最初から最後までそれぞれが持ち味を出して、しのぎを削り合う見応えのある試合だった。第1セット、WD名古屋はポンウが2本のサービスエースと2本のブロックポイントで活躍を見せた。終盤まで1点を争う展開となったが、ターニングポイントは21-20のラリーで、高梨が足でブロックフォローをし、そのトスをレフトから打ち切って得点したプレーだった。第2セットもWD名古屋が3連続得点をあげれば、直後にFC東京も3連続得点で追いつくという展開が始まった。このセットもWD名古屋のポンウがブロックで3点、アタックで2点と存在感を見せると、さらに山崎がその上をいく6得点でチームに貢献した。特に山崎は21-21以後3本のアタックを決めるなど終盤で勝負強さを見せた。第3セット、FC東京が開始早々の4連続得点でリードを奪い、終盤優勢にゲームを進めた。しかしWD名古屋が18-20から3連続得点で逆転すると、またも拮抗した争いとなった。デュースに入ってから互いに1本ずつサービスエースを決めるなど激しいせめぎ合いが続いたが、WD名古屋が29-29から椿山の強打で三度目のマッチポイントを奪うと、最後は相手の軟打を山崎がブロックで止めて決着した。WD名古屋のリベロ古賀(幸)とFC東京のリベロ古賀(太)のレシーブや二段トスが何度も観客を沸かせ、両リベロの活躍も強く心に残る一戦であった。		

試合番号 : 278	試合会場 : アスティとくしま (徳島県立産業観光交流センター)	観客数 : 1,300
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:48	試合時間 : 01:48
主審 : 千代延 靖夫	副審 : 服部 篤史	
ジェイテクトSTINGS 通算 23勝 11敗 ポイント : 65	21 第1セット 25 25 第2セット 23 25 第3セット 17 25 第4セット 18 第5セット	サントリーサンバーズ 通算 31勝 3敗 ポイント : 88
監督コメント 昨日の敗戦から気持ちを切り替えて、チーム全員で今日の試合に強い気持ちで臨んでくれ、いい形で最終戦を締めくくってくれました。最終的に悔しい順位となりましたが、この悔しさを黒鷲旗や来シーズンに活かしていきます。今シーズンも皆様の温かい応援が我々の力となりました。本当にありがとうございました。コロナ禍の中、こうして試合ができたことに心より感謝申し上げます。	3	1 監督コメント レギュラーラウンド最終戦を勝利で飾れなかったことは非常に残念ですが、途中出場した選手達は良い経験を積むことができたと思います。来週にはファイナルが控えているので、もう一度チーム全体が1つになれるよう準備していきたいです。長いシーズンを戦い、たくさんのご声援ありがとうございました。さらには進化していくサンバーズをよろしくお祈りいたします。
要約レポート レギュラーラウンド最終戦となる一戦。第1セット、序盤ジェイテクトSTINGSはフェリペのサーブを起点に連続得点するが、サントリーサンバーズはムセルスキー、秦の攻撃で逆転する。中盤、ジェイテクトは西田のサービスエースから追いつくも、サントリーが引き離してセットを奪う。第2セット、ジェイテクトは西田、福山のブロックでリードを奪い、その後も西田を中心に得点を重ねセットを奪い返す。第3セット、ジェイテクトは西田の勢いが止まらず、福山のブロックで点差を広げ、セットを連取する。第4セット、サイドアウトの応酬から福山、西田の得点で抜け出したジェイテクトが勝利を飾った。		

試合番号 : 279	試合会場 : 堺市金岡公園体育館	観客数 : 366
開始時間 : 12:00	終了時間 : 14:06	試合時間 : 02:06
主審 : 林 淳一	副審 : 山本 晋五	
堺ブレイザーズ 通算 17勝 19敗 ポイント : 49	28 第1セット 30 27 第2セット 25 21 第3セット 25 19 第4セット 25 第5セット	パナソニックパンサーズ 通算 29勝 7敗 ポイント : 85
監督コメント 松本、出菜田選手がとても良いプレーをしてくださいました。大竹選手の第1セットのサーブは、今日の試合の雰囲気を変えるものでした。今シーズンを通してブロック、パスは良かったが、もっと安定したスパイクを続けていく必要があります。長いシーズン、応援ありがとうございました。	1	3 監督コメント 若手選手が大活躍してハイレベルなプレーをしたのが非常に嬉しかったです。本日にチーム1つになって勝ったと思います。来週のファイナルに向けてしっかり練習します。応援よろしくお祈りいたします。
要約レポート 今シーズン最後となる堺ブレイザーズとパナソニックパンサーズの試合。第1セット、堺は開田の多彩なトスワークから得点をあげリードし、セカンドテクニカルタイムアウトで16-9とした。パナソニックは大竹のサービスエースから流れ引き寄せ、児玉のブロックなどで一気に追いつけた。パナソニックは白澤のアタック、児玉のブロックなどで24-24に追いつくと、度重なるデュースの末、新しいサービスエースでセットを取った。第2セット、一進一退の攻防を繰り返す。堺が高野、出菜田の活躍で得点を重ねると、パナソニックは白澤、児玉、大竹のアタックで応戦。終盤まで試合がもつれ込んだが、堺は高野、出菜田のアタックで千々木のブロックで粘り、セットを取り返した。第3セット、パナソニックは今朝のサーブで流れに乗ると、仲本、大竹のアタックで得点を重ね9-2とした。堺は高野のバックアタックなどで追いつけるが、パナソニックはリードを保ったまま、大竹のアタックでこのセットを取った。第4セット、パナソニックは仲本のアタック、児玉のブロックでリードする。堺はセッターに佐川を起用し、高野、出菜田、千々木、鶴野のアタックで、じわじわと追いつけた。パナソニックは18-13で鈴木を投入。堺はさらに追いつけを見せたが、最後は鈴木はサービスエースでパナソニックが勝利した。		

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。

試合番号 : 280		試合会場 : 堺市金岡公園体育館				観客数 : 320							
開始時間 : 15:00		終了時間 : 16:22		試合時間 : 01:22		主審 : 小野 将人		副審 : 中山 健					
東レアローズ		通算	17 勝	16 敗	25	第1セット	19	大分三好ヴァイセアドラー		通算	3 勝	33 敗	
			ポイント : 49								ポイント : 12		
監督コメント	最終戦をストレート勝利できてよかったと思います。今シーズン5位という結果でしたが、優勝を目指している我々にとっては残念な結果でした。来シーズン強いアローズを作るようしっかり精進してまいります。半年間という長いシーズン、たくさんの応援本当にありがとうございました。				3	25	第1セット	19	0	監督コメント	次週のチャレンジマッチが決まった中でこの戦いとなりました。結果はストレートでの敗戦となりましたが、選手は粘り強く戦ったと思います。本日のゲームをもって退団していく選手、スタッフもおりますが、感謝の気持ちでいっぱいですが、この状況の中Vリーグが開催されたこと、ご尽力された方々に感謝申し上げます。そして、応援していただいた皆さま、本当にありがとうございました。		
						25	第2セット	22					
						25	第3セット	17					
							第4セット						
							第5セット						
要約レポート													
2020-21 V. LEAGUE DIVISION1 MEN V・レギュラーラウンドの最終戦は、東レアローズと大分三好ヴァイセアドラーが対戦した。第1セット、東しは高橋のブロックやパダルの連続サービスエースでリードを奪った。大分三好は川口やストックトンのアタックで応戦するが、最後は東しの高橋がアタックを決め、セットを先取した。第2セット、東しは高橋や季のクイクを効果的に使い、大分三好が川口や古賀のアタックで食い下がるのを振り切ってセットを取り、続く第3セットも東しが5本のブロックを決めるなど圧倒して、セットカウント3-0で勝利した。これにより、東しは5位、大分三好は10位となり、大分三好は4月3日、4日に開催されるV・チャレンジマッチに出場する。													

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :							
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :					
		通算	- 勝	- 敗		第1セット			通算	- 勝	- 敗		
			ポイント :							ポイント :			
監督コメント							第2セット			監督コメント			
							第3セット						
							第4セット						
							第5セット						
要約レポート													

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :							
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :					
		通算	- 勝	- 敗		第1セット			通算	- 勝	- 敗		
			ポイント :							ポイント :			
監督コメント							第2セット			監督コメント			
							第3セット						
							第4セット						
							第5セット						
要約レポート													

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :							
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :					
		通算	- 勝	- 敗		第1セット			通算	- 勝	- 敗		
			ポイント :							ポイント :			
監督コメント							第2セット			監督コメント			
							第3セット						
							第4セット						
							第5セット						
要約レポート													